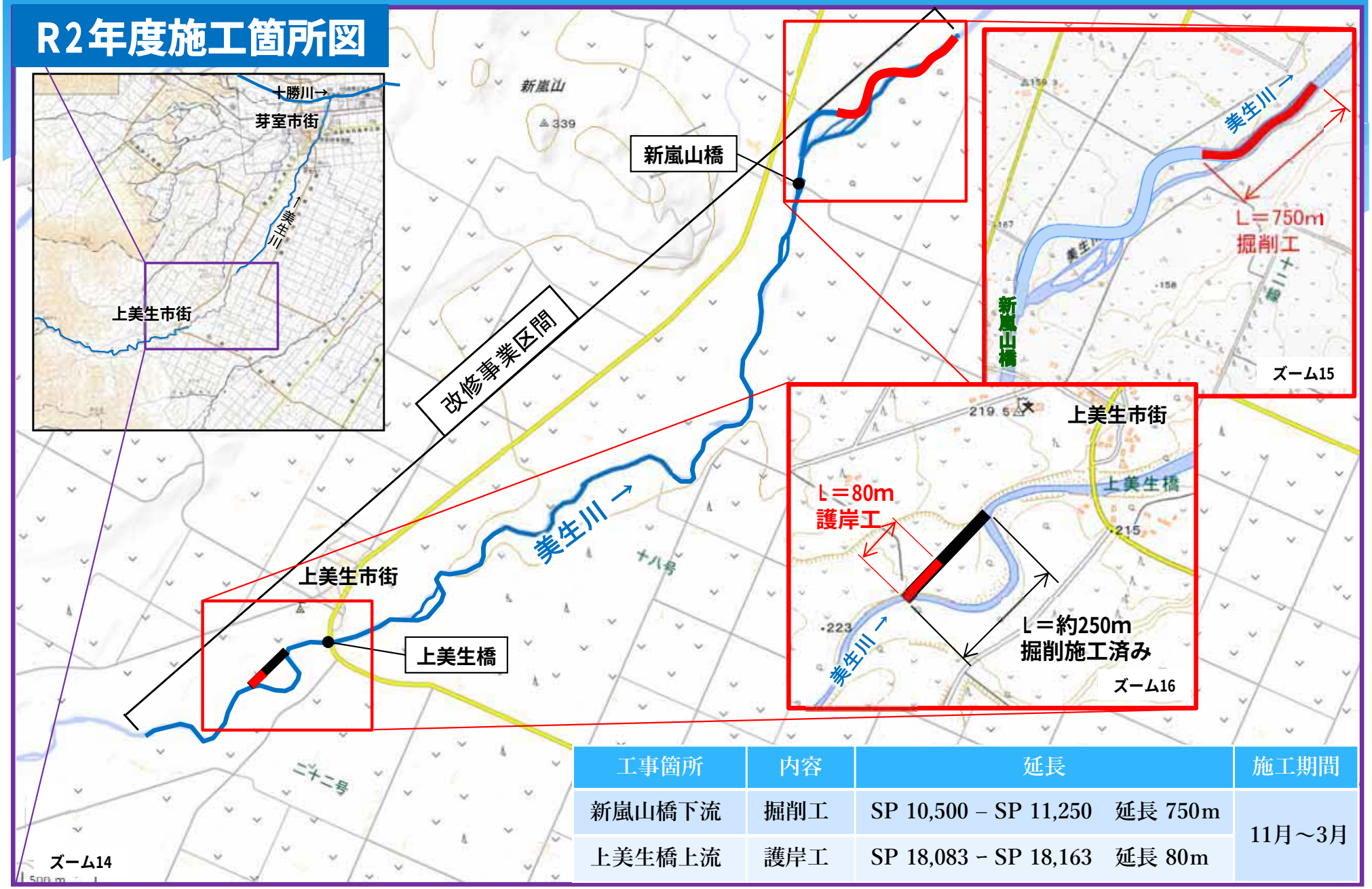
3．美生川改修工事

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

R2年度施工箇所図



工事箇所	内容	延長	施工期間
新嵐山橋下流	掘削工	SP 10,500 – SP 11,250　延長 750m	11月～3月
上美生橋上流	護岸工	SP 18,083 – SP 18,163　延長 80m	

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 107

3．美生川改修工事

掘削工事　施工状況（R3.2.17）

3．美生川改修工事

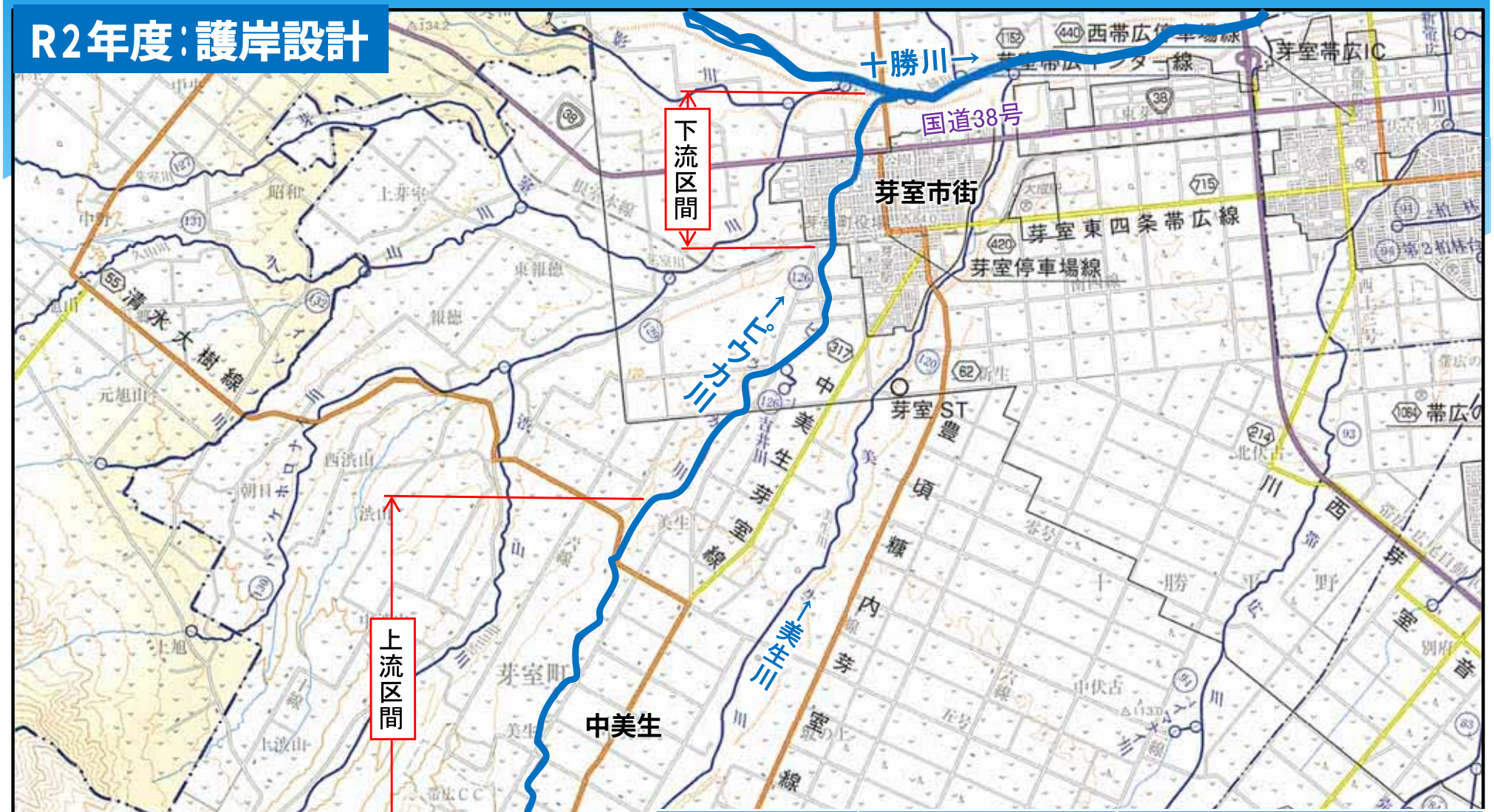
護岸工事　施工状況（R3.2.17）

令和３年度の予定　予算等により変更あり

	内容
帯工２基	• SP18,067、SP18,159 （上美生橋上流部：Ｒ１年度掘削水路内）
護岸工	• SP18,055.5～SP18,080.5　L=左右50m • SP18,146.5～SP18,171.5　L=左右50m 延長＝100m （上美生橋上流部：Ｒ１年度掘削水路内）

4．ピウカ川改修事業

R2年度：護岸設計



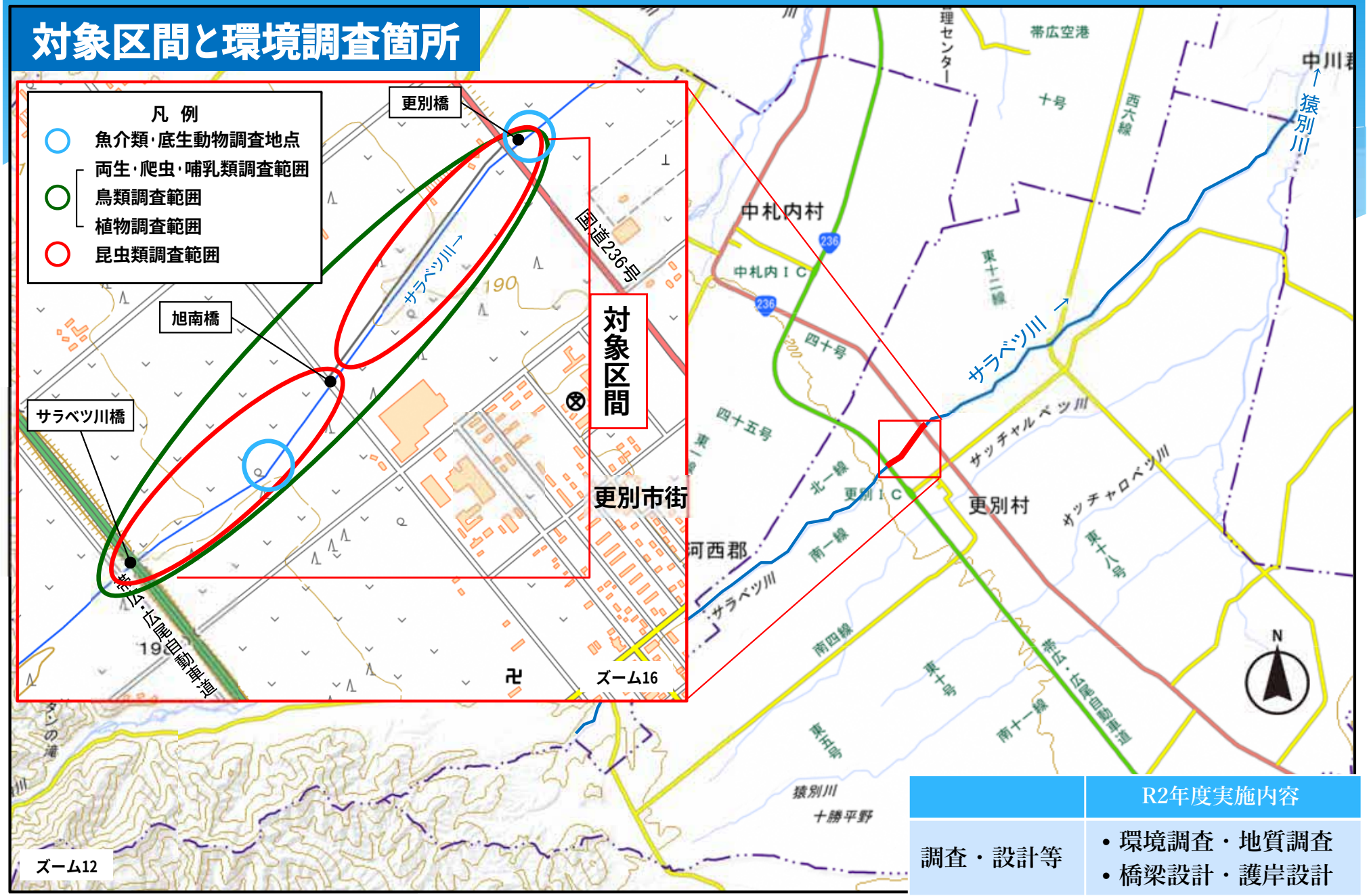
	R2年度実施内容	施工予定
・調査・設計	護岸設計	－
・改修工事	工事なし	R3年度 下流工区施工予定

令和３年度の予定　予算等により変更あり

	内容
下流区間	掘削工・護岸工 ✓ SP0～SP750（十勝川合流部～元村橋(国道38号)）

5．サラベツ川改修工事

対象区間と環境調査箇所



	R2年度実施内容
調査・設計等	・環境調査・地質調査 ・橋梁設計・護岸設計

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 107

調査等概要

		調査箇所	調査時期
環境調査	魚類調査	更別橋、旭南橋上流	5月19日（春季） 7月14日（夏季） 9月23日（秋季）
	底生動物調査	更別橋、旭南橋上流	5月19日（春季） 7月14日（夏季）
	両生類・爬虫類・哺乳類	更別橋～サラベツ川橋上流	5月11日（春季） 7月27日（夏季） 1月11日（冬季）
	鳥類	更別橋～サラベツ川橋上流	5月25・26日（繁殖前期） 6月10・11日（繁殖後期）
	昆虫類	旭南橋下流、旭南橋上流	7月8～9日（春～夏季） 8月19～20日（秋季）
	植物調査	更別橋～サラベツ川橋上流	5月11日（春季） 7月27日（夏季） 9月23日（秋季）
地質調査			
設計	橋梁設計、落差工設計		

環境調査　結果① 魚類

	更別橋		旭南橋上流	
	落差工下流	落差工上流	落差工下流	落差工上流
フクドジョウ	1	0	1	0
ニジマス	1	0	0	0
２科２種	２科２種２尾	０科０種０尾	１科１種１尾	０科０種０尾

青字：外来種

環境調査　結果② 底生動物

比較的多く確認されたもの	全体の種類数
オヨギミミズ科の一種	８目15科37種
ユスリカ属の一種	
ケユキユスリカ属の一種	

環境調査　結果③ 両生類･爬虫類･哺乳類

	確認種
両生類	確認されず

	確認種
爬虫類	確認されず

	確認種	重要種	特定外来生物
哺乳類	7 科 7 種	確認されず	アライグマ

青字：特定外来生物

アライグマの足跡

キタキツネの足跡

エゾシカの足跡

環境調査　結果④ 鳥類

赤字：重要種

	確認種	重要種	外来種
科種数	20科35種	1科2種	0科0種

確認重要種			確認日
鳥類A種	夏鳥	草・水	5/25、5/26、6/10
鳥類B種	旅鳥 （春・秋）	水	5/25、5/26

環境調査 結果⑤ 昆虫類

赤字：重要種　青字：特定外来生物

	確認種	重要種	特定外来生物
種類数	14目136科438種	4目4科4種	1目1科1種（セイヨウオオマルハナバチ）

	確認重要種	確認季
旭南橋下流	昆虫類A種	春～夏季
旭南橋上流	昆虫類B種	秋季
	昆虫類C種	秋季
	昆虫類D種	春～夏季

環境調査　結果⑥ 植物

青字：特定外来生物

	確認種	重要種	外来種	
科種数	57科176種	２科２種	11科38種	特定外来生物 １科１種（オオハンゴンソウ）

今後の予定　予算等により変更あり

* 令和５年度に工事着手の予定です。
* 河道断面拡幅に伴い、国道橋の架替工事が必要なため国（北海道開発局）との協議を進めている段階です。

6． 旧途別川改修工事

対象区間･環境調査箇所

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 107

調査概要

		調査箇所	調査時期
環境調査	魚介類調査	下流箇所：相川20号橋付近 中流箇所：相川17号橋付近 上流箇所：千住6線新橋付近	6月16～17日（春季） 8月19～20日（夏季） 9月中旬～10月上旬（秋季）
	底生動物調査		6月24～25日（春季） 8月19日（夏季）
	両生類・爬虫類・哺乳類	猿別川合流点～稲志別川合流点 コウモリ調査箇所 • 下流箇所：相川20号橋付近 • 中流箇所：相川17号橋付近 • 上流箇所：千住6線新橋付近	4月18～19日(両生類産卵状況) 5月2日（春季） 7月3日（夏季） 1月20～21日（冬季）
	昆虫類	猿別川合流点～稲志別川合流点	春～夏季・秋季
	鳥類	猿別川合流点～稲志別川合流点	6月5～6日（春季） 7月18～19日（夏季）
	植物調査	猿別川合流点～稲志別川合流点	春季・夏季・秋季
水質調査	pH、DO、BOD、COD、大腸菌群数、SS、全窒素、全燐	下流箇所：相川20号橋付近 中流箇所：相川17号橋付近 上流箇所：千住6線新橋付近	6月17日（春季） 8月20日（夏季） 10月20日（秋季） 1月12日（冬季）
地質調査			

環境調査　結果① 魚介類　春季･夏季結果

赤字：重要種　青字：特定外来生物

	下流調査箇所	中流調査箇所	上流調査箇所	計
魚類Ａ種	1	4	20	25
ギンブナ	－	1	1	2
ウグイ	7	－	21	28
ウグイ属の一種	－	10	6	16
フクドジョウ	214	186	99	499
魚類Ｂ種	3	－	－	3
サケ	0	1	1	2
魚類Ｃ種	－	－	1	1
魚類Ｄ種	12	185	9	206
トミヨ属淡水型	223	65	6	294
スジエビ	3	3	2	8
ウチダザリガニ	16	20	－	36
７科11種	479	475	166	1,120尾

環境調査　結果② 両生類･爬虫類･哺乳類

	確認種
両生類	ニホンアマガエル、エゾアカガエル
	確認種
爬虫類	確認されず
	確認種
哺乳類	哺乳類A種、哺乳類B科の一種、エゾユキウサギ、エゾリス、 ドブネズミ、ネズミ科の一種、キタキツネ、イタチ、ミンク(特定)、エゾシカ

赤字：重要種　青字：外来種　(特定)：特定外来生物

環境調査　結果③ 鳥類

	確認種	重要種
種類数	28科61種	6科8種

確認重要種			確認季	状況
鳥類A種	夏鳥	草原	春季	上空を飛翔
			夏季	河道上空を飛翔
			その他※1	水面に5羽のオスがとまり
鳥類B種	留鳥	湖川・草原	その他	中州と畑で採餌
鳥類C種	夏鳥	草原	春季 その他	上空をディスプレーフライト・畑内から鳴き声 夜間、上空をディスプレーフライト
鳥類D種	留鳥	湖川・海辺	その他	河道上空を旋回しながら飛去
鳥類E種	夏鳥	森林	その他	河畔林の低木に泊まり、その後山方向へ飛去
鳥類F種	留鳥	林縁	夏季	河畔林内で採餌
鳥類G種	留鳥	森林	その他	山側から鳴き声
鳥類H種	旅鳥	森林	春季	河畔林内から鳴き声

※1 その他：鳥類調査以外で確認されたもの

環境調査　結果④ 植物

	確認種	重要種	外来種	
科種数	70科269種	１２科14種	14科57種	特定外来生物 １科１種（オオハンゴンソウ）

水質調査 結果

項目	結果
pH（酸性～アルカリ性）	比較的汚濁度が低い値でした。
BOD（有機物の量）	
SS（水の濁り）	
DO（水中の溶存酸素）	
COD（有機物の量）	比較的汚濁度が高い値でした。 ✓ 周辺の農地（窒素・リンを含む）から？ ✓ 牧場等（大腸菌を含む排水）から？
大腸菌群数	
全窒素（富栄養化のめやす）	
全リン（富栄養化のめやす）	

今後の予定　予算等により変更あり

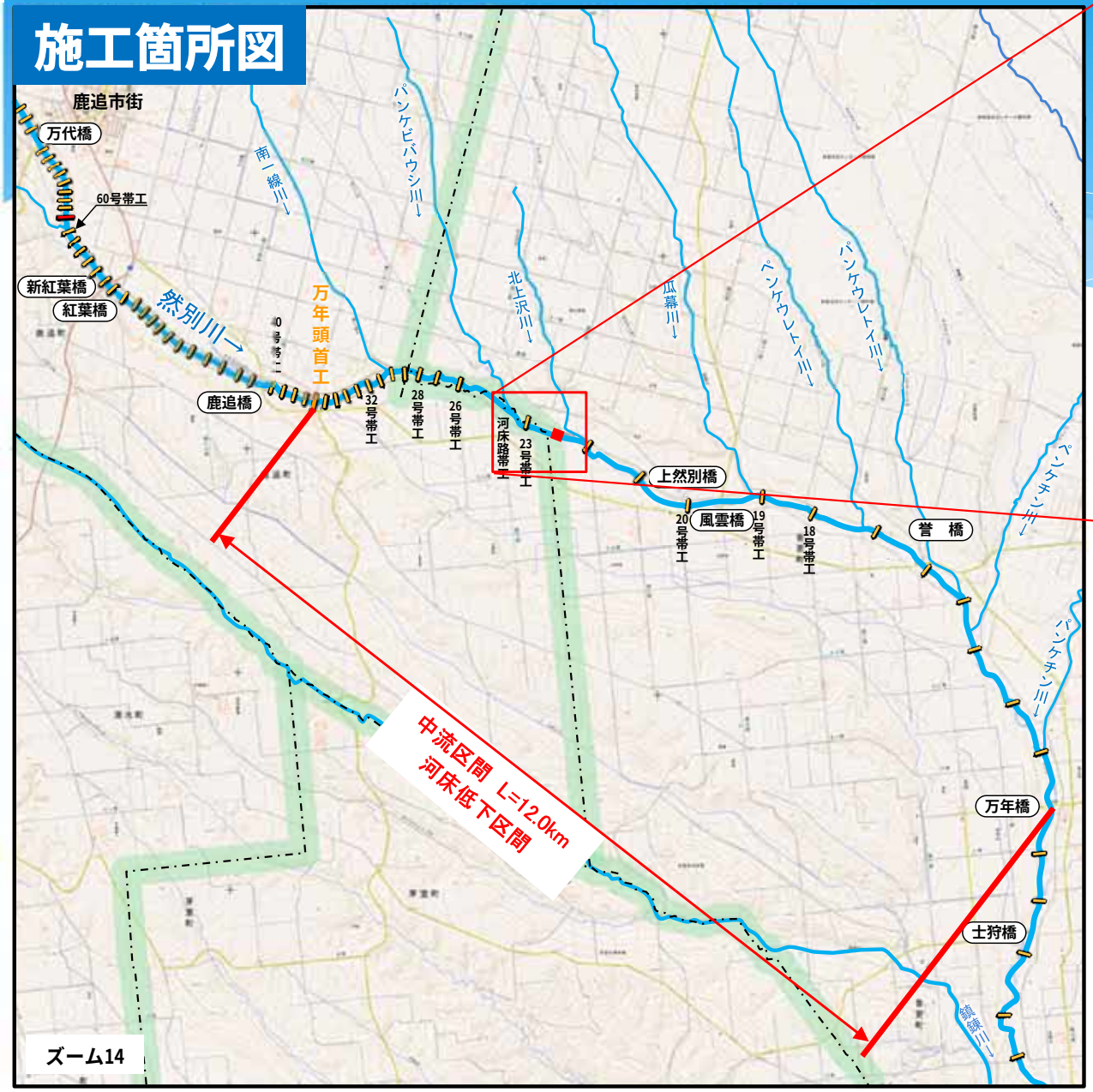
* 令和５年度に工事着手の予定です。
* 令和３～４年度調査等予定：地質調査、樋門設計、用地測量

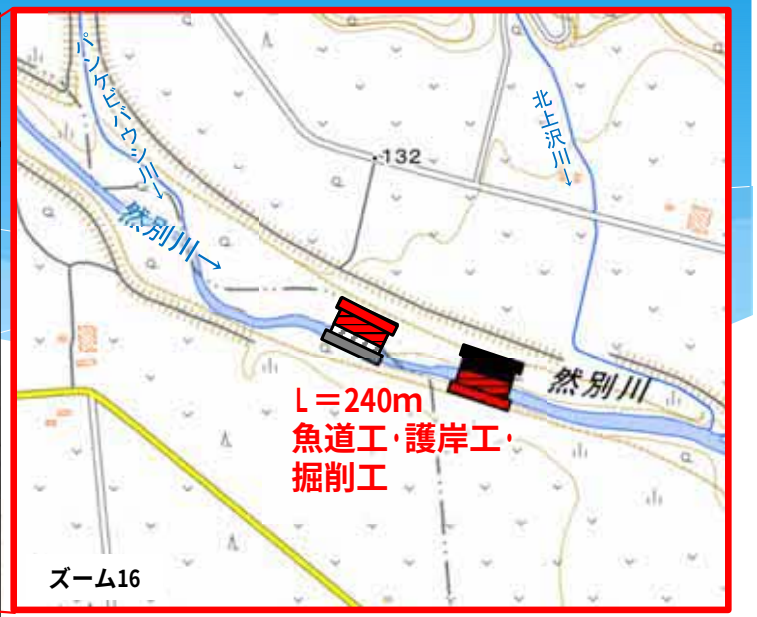
７．渋山川、居辺川河川区間

	今後の事業予定
渋山川	• 単独費で予算がついたら対応
居辺川河川区間	• 単独費で予算がついたら対応

8．然別川総合流域防災工事：魚道工

施工箇所図





工事箇所	北上沢川合流点上流 音更町南中音更南1線 鹿追町上然別西9線
内容	魚道工、護岸工、掘削工
延長	SP 17560 – SP 17800 延長＝ 240 m
施工期間	8月～3月
調査等	魚類調査、河床変動調査 河床低下抑制対策

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 107

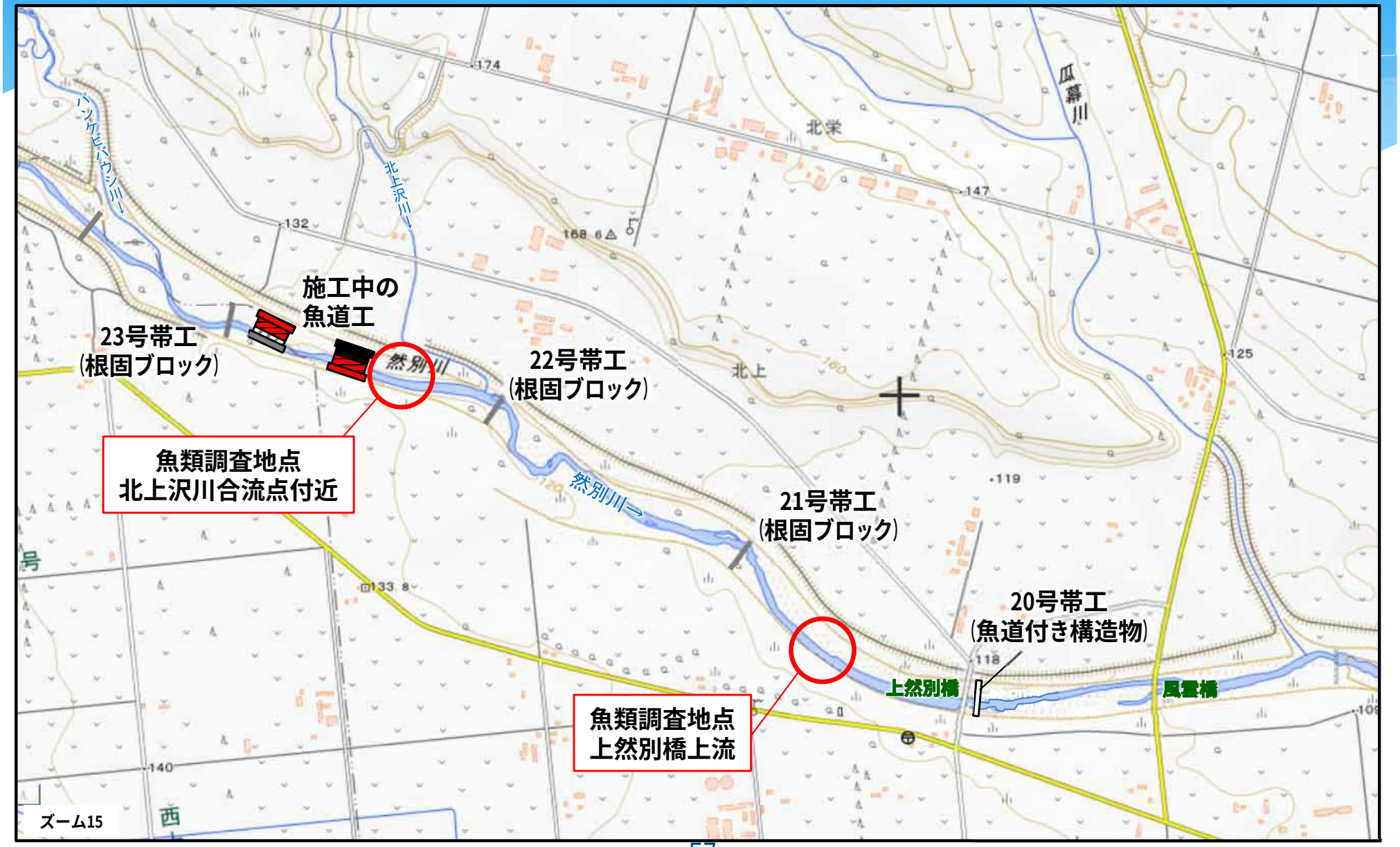
8．然別川総合流域防災工事：魚道工

魚道工施工状況（R3.2.12）

調査等概要

	調査時期	箇所
魚類調査 産卵床調査	7月21日 9月28日	• 20号帯工の魚道上流部・施工中の魚道工下流部
河床変動調査（簡易測量）		• 万年橋～万年頭首工（前回報告済み）

魚類調査① 調査地点



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 107

魚類調査② 調査結果 (1)

赤字:重要種　青字:外来種

	下流側：上然別橋上流	上流側：北上沢川合流点付近
魚類Ａ種	20	7
ヤツメウナギ科の一種	15	24
ギンブナ	20	－
魚類Ｂ種	17	－
ウグイ	21	19
ウグイ属の一種	155	4
ドジョウ	1	－
フクドジョウ	163	258
ニジマス	4	120
魚類Ｃ種	15	19
魚類Ｄ種	3	5
計	６科９種	５科６種

＊ この区間の過年度調査では未確認だった魚類Cの生息が確認されました。

＊ 上然別橋下流の20号帯工に設置された魚道により、分布が上流域へ拡大しているものと考えられます

8．然別川総合流域防災工事：魚道工

産卵床調査　調査結果

* 19号帯工から23号帯工で調査しました。
* 魚類E種の産卵床が、本流で7箇所、瓜幕川で６箇所見つかりました。

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 107

その他　化石林についての対応

＊ 今回の工事では化石林が確認されなかったため、特に対応は行っていません。